

科目名	美容デザイン論Ⅴ	Subject	Theory of Beauty Design Ⅴ					
サブタイトル	理論的観点から技術の課題を発見し分析を行う							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1単位	30時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回		なし						
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師としての経験をもとに美容用具の取り扱いや技術の方法について具体例を盛り込んだ内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要																	
各美容技術の理論を考察しながら得た知識を踏まえ、人を美しくするために必要な技術を選択できるように応用力を養う。 美容デザイン実習Ⅴ・Ⅵ・Ⅶと連動して知識を深め、技能の向上に向けて理論を応用して課題分析の実践に役立てる。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		あり		-		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP1		人を美しくするために必要な技術の課題分析に美容デザイン論Ⅰ～Ⅳで得た知識を応用できる。															
DP3		美容デザイン実習Ⅷ・Ⅸと関係づけ、美容デザイン論Ⅰ～Ⅳで得た知識を用いて技能向上のための課題解決ができる。															
教科書・教材																	
教科書		美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2026年 教員作成資料及び演習問題プリント															
参考文献		「美容師筆記試験問題」（過去9回分女性モード社 電子書籍 読み放題プランで使用可）、「美容師国家試験 合格対策&模擬問題集〈2026 - 2027年版〉—集中マスター」															
各自準備教材		B5大学ノート															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
80%		-		10%		-		-		-		-		10%		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
定期試験の要点について、classroom 内にて解説を行います。																	
履修上の条件・注意																	
2年次前期開講科目「美容デザイン論Ⅳ」および「美容デザイン実Ⅳ」を単位修得した者のみ履修可能 美容デザイン実習Ⅴ・Ⅵ・Ⅶの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡は classroom を通じて行います。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 1 章～7 章の確認	ヘアに関する美容技術の知識を的確に選択することができる。	〈復習〉知識が不足していた箇所を以前まとめたノートで再確認	60 分
第 2 回	国家試験第一課題① カットスタイルを学ぶ	国家試験課題のカットスタイルについて述べるができる。	〈復習〉国家試験課題のカットスタイルの展開図を作ってくる（45 分） 〈予習〉国家試験課題のカット技法をまとめたノートから推測する（15 分）	60 分
第 3 回	国家試験第一課題② カット技術理論を学ぶ	国家試験課題のカット技術の理論を理解し課題作成に関係づけることができる。	〈復習〉各ブロッキングの角度や方向性とカット技術の関係性をまとめる（45 分） 〈予習〉カットのチェックポイントを推察する（15 分）	60 分
第 4 回	国家試験第一課題③ チェックのポイントを学ぶ	国家試験課題のチェックポイントの理論を理解し自らの技術課題に応用することができる。	〈復習〉チェックポイントをその日に切った作品で繰り返し確認し、分析してノートにまとめる（45 分） 〈予習〉ワインディング理論についてこれまでのまとめノートを再確認する（15 分）	60 分
第 5 回	ワインディング理論まとめ	ワインディング理論を復習し、知識を課題分析に応用することができる。	〈復習〉各期で作成したワインディング画像 2 体ずつを理論に基づいて比較してくる（30 分） 〈予習〉次のオールウェーブ理論についてこれまでのまとめノートを再確認する（30 分）	60 分
第 6 回	オールウェーブ理論まとめ	オールウェーブ理論を復習し、知識を課題分析に応用することができる。	〈復習〉各期 2 体ずつのオールウェーブ課題を理論に基づいて比較してくる（30 分） 〈予習〉国家試験受験案内の技術条件を読み込む（30 分）	60 分
第 7 回	国家試験実技課題について	国家試験受験案内の技術条件を確認しながら課題の分析ができる。	〈復習〉試験センターの不適切な仕上がり画像を閲覧し、改善方法を考える（30 分） 〈予習〉エステティックについてこれまでのまとめノートを再確認する（30 分）	60 分
第 8 回	エステティックについて	マッサージ理論をもとにフェイシャルケア技術について具体的に述べるができる。	〈復習〉フェイシャルケア技術理論の演習問題を繰り返し解く（30 分） 〈予習〉ネイルについてこれまでのまとめノートを再確認する（30 分）	60 分
第 9 回	ネイル技術について	各ネイル技術を適切に選択して説明できる。	〈復習〉ネイル技術理論の演習問題を繰り返し解く 30 分 〈予習〉メイクアップについてこれまでのまとめノートを再確認する（30 分）	60 分
第 10 回	メイクアップについて	メイクの基本プロセスを人に合わせる想定で説明できる。まつ毛エクステンションについて説明できる。	〈復習〉メイクの基本プロセスとまつ毛エクステンションの演習問題を繰り返し解く（30 分） 〈予習〉次回行う日本髪についてこれまでのまとめノートを確認する（30 分）	60 分
第 11 回	日本髪について	日本髪の調和と装飾品の使用方法を結髪技術で選択できる。	〈復習〉日本髪の総合的な美を感じる画像を探す 30 分 〈予習〉着付けについてこれまでのまとめノートを確認する（30 分）	60 分
第 12 回	着付けの理論と技術について	各着物の着つけ理論と着つけ技術のポイントを比較して、適切に述べるができる。	〈復習〉各着物の着つけ技術を理論と結び付けてノートにまとめる（30 分） 〈予習〉演習問題を繰り返し説く（30 分）	60 分
第 13 回	国家試験筆記課題（美容理論）への対応力を養う① 序章～7 章の応用	序章から 7 章に対応する国家試験の出題傾向に沿って、各知識を比較することができる。	今回の内容で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く	60 分
第 14 回	国家試験筆記課題（美容理論）への対応力を養う② 8 章～12 章の応用	8 章から 12 章に対応する国家試験の出題傾向に沿って、各知識を比較することができる。	今回の内容で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く	60 分
第 15 回	まとめと解説	美容デザイン論 I～V で得た知識をもとに必要な美容デザイン知識を選択または分析することができる。	美容技術理論 1.2 で自らの知識が不足していた箇所を教科書や以前まとめたノートで見直し、繰り返し問題を解く	60 分